

令和5年度 第2回向日市地域包括支援センター運営協議会要点録

1 日 時：令和6年3月19日（火） 午後1時30分から午後2時30分まで

2 場 所：永守重信市民会館2階第2会議室

3 出席者

（出席）清家委員、堀委員、大橋委員、岡本委員、岡田委員、高桑委員、大森委員
（以上7名）

（欠席）糸委員、乾委員

（事務局）山田部長、小畑課長、小澤主席係長、勝川主席係長、内海係長、
木村北地域包括支援センター長、村上中地域包括支援センター長、
重田南地域包括支援センター長

（傍聴者）1名

4 議 事

（1）令和5年度向日市地域包括支援センター事業中間報告について

（2）令和6年度向日市地域包括支援センター事業方針（案）について

5 資 料

資料1「令和5年度向日市地域包括支援センター事業中間報告」

資料2「令和6年度向日市地域包括支援センター事業方針（案）」

委員名簿

6 内 容

議事(1) 令和5年度向日市地域包括支援センター事業中間報告について

・事務局から、令和5年度の地域包括支援センター事業実績（相談実績やケアプラン作成数、出前講座、地域ケア会議など）について説明を行った。

（資料1）

【質疑回答・意見要旨】

委 員 3月21日に開催予定の地域包括ケア会議について、参加者や内容、テーマ等について教えていただきたい。

事務局 本市の総合事業の現状と課題について検討する予定となっている。参加者は、高齢介護課に加え、乙訓医師会、乙訓地域在宅医療・介護連携支援センター、市内居宅介護支援事業所、市内総合事業担当事業所等が参加予定となっている。

議事(2) 令和 6 年度向日市地域包括支援センター事業方針（案）について

・事務局から、令和 6 年度向日市地域包括支援センター事業方針（案）について説明を行った。

（資料 2）

【質疑回答・意見要旨】

委員 各地域包括支援センターからケアマネジャーの不足について説明があった。事業実績報告において新規相談件数が一桁であっても、延べ件数は圧倒的に多く、伴走支援に多くを費やしていると感じる。ケアマネジャーを増やすことは中々難しいと理解しているが、伴走支援や仕組みづくり等について具体的な方策はあるのか。

事務局 委員ご指摘のとおり伴走支援は非常に増えている状況であり、深刻な課題であると感じている。伴走支援に係る診療報酬の改定や制度化について全国的に動いている。中々ケアマネジャー不足は解消しておらず、有効的な支援については、現状ないような状態である。本市においては、介護の日に合わせた介護支援事業所への就職相談会に加え、令和 6 年度は、就職フェアを実施し、ケアマネジャーとして就労していただける方の募集について考えている。関係機関と連携を密にとりながら、相談及び情報共有し、課題解消に向けて取り組みを考えている。

委員 令和 6 年 4 月に診療報酬改定が予定されている中で、介護職等のヘルパーに対する支給率が見直されるが、介護報酬費と処遇改善加算、ケアマネジャーに係ることは見送られる可能性が高い。ケアマネジャーの改善については、事業所の努力だけでは限界があるため、行政の力を借りる必要がある。制度を改革していくことは難しいかもしれないが、小さなところから動き出す必要があると思う。京都府と連携し取り組むという考えはないのか。

事務局 委員ご質問の処遇改善については、京都府等と連携し、令和 6 年度就職フェアを実施する中で、ケアマネジャーの魅力を発掘できるような仕掛けができないかと相談している。その他の課題については、1 市町村では解決が難しく、京都府を通じ、引き続き国へ要望を挙げていく。他市町村の取り組みについても情報収集し、本市でできることがあれば積極的に取り組んでいく。